

I. ごあいさつ

平素は、阪神電車をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。また、当社事業にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年度は、地震、豪雨、台風の接近・上陸と度重なる自然災害に見舞われ、列車の運休や遅延によりご利用されるお客さまにはご不便をお掛けしました。これらの経験を踏まえ、初動対応のあり方、お客さまへの運転状況の情報発信、施設点検や運転再開までの対応等について見直し、改善に取り組みました。今後もこれらの取組みを検証し、異常時における対応力の強化を図ってまいります。また、ハード面におきましては、阪神なんば線淀川橋梁改築工事に着手しました。この工事は、運転保安の向上に加え、橋桁のかさ上げと橋脚数を減らすことによる高潮等の洪水対策を目的とするもので、早期実現を目指し、計画的に工事を進めてまいります。

このほか、神戸市内における踏切道の除却を目的とした高架化工事、梅田駅改良工事、耐震補強工事等を着実に進め、運転保安の向上に努めました。なお、ホームドアの整備につきましては、梅田駅においては駅改良工事の中で設置する予定であり、神戸三宮駅においては2021年春頃の稼働を目指し、本年、工事に着手する予定です。これらの工事につきましては、お客さまや近隣の皆さま、関係機関等のご理解とご協力をいただきながら進めてまいります。

一方、施設や設備面の改良とともに、係員に対する安全教育や各種訓練を通じて技術継承や安全意識の向上に注力しました。また、駅構内における安全性の向上につきましては、教育や啓発活動を継続的に実施し、目の不自由な方などお困りのお客さまに対する積極的な声かけや見守りを定着させるとともに、列車接近放送の改良やホーム縁端部に注意喚起ラインを設置するなどの対策を講じました。更に、本年3月より、阪神なんば線で使用する列車において、異常時の案内にも対応した多言語自動放送を開始しました。引き続き、訪日外国人を含む全てのお客さまに対する情報発信の強化に努めてまいります。

以上の取組みにより、2018年度におきましても、安全目標であります「責任事故ゼロの継続」を達成し、33年11か月にわたり責任事故が皆無であるとして、国土交通省近畿運輸局長より表彰をいただくことができました。

私ども鉄道事業に従事する者にとって、安全輸送は最大の使命であり、お客さまの当社に対する信頼の礎であります。これからも、お客さまに安心してご利用いただけるよう全役員・社員が一丸となり、更なる安全性の向上に邁進してまいります。



阪神電気鉄道株式会社
取締役社長
秦 雅夫

2019年7月